

<b>あおぞら学級</b>	<b>単 元 名</b>	おはなしだいすき～自動車ずかんを作ろう～
(教科)生活単元学習		

### 1. 単元の目標

<p>(かしこい子)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験したことをもとに、自動車ずかんを作る。</li> <li>・説明文「じどう車くらべ」を読み、車の仕事と作りを知る。</li> </ul> <p>(がんばる子)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールを守って、いろいろな車に乗る体験をする。</li> </ul> <p>(やさしい子)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と一緒に順番を守ったりゆずりあったりして車に乗る活動をする。</li> </ul>
--

### 2. 学校図書館活用のポイント※目標との関連も踏まえて

<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車の絵本や図鑑を楽しんで読んでいる。</li> <li>・本を見て、自動車の絵を描こうとしている。</li> <li>・本を見て、自動車の仕事とつくりがわかる。</li> </ul>
---

### 3. 単元の評価規準

【A児】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通機関を利用し、乗降時には様々な方法で料金を支払う体験をする。【1段階コ:社会の仕組みと公共施設】</li> <li>・消防署や警察署、バス停などがあることを知る。【1段階コ:社会の仕組みと公共施設】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動を通して見たこと、感じたことなどを振り返り新聞にし、みんなの前で発表する。【1段階コ:社会の仕組みと公共施設】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返り新聞を自分で読んで発表しようとしている。</li> <li>・絵カードを使って、自分のすることがわかったり、したいことを伝えたりしようとしている。</li> </ul>
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、車について書かれたいろいろな絵本や図鑑などに興味を持って読もうとしている。【2段階 イ(エ)】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験したことについて、振り返り新聞に簡単な語句や短い文を書く。【3段階 (B書くことウ)】</li> <li>・教師と一緒に説明文「じどう車くらべ」を読み、内容の大体を読み取ろうとしている。【2段階 (C読むことイ)】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵カードを選んで、振り返り新聞を書こうとしている。</li> <li>・オノマトペを使って、自分の感じたことを表そうとしている。</li> </ul>
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真や図鑑を見ながら、絵の具やクレヨンを使って車の絵を描いている。【2段階 A表現ア(イ)】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図鑑や体験した写真を見て、描きたいものを考えている。【2段階 A表現ア(ア)】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで車の絵を描こうとしている。</li> </ul>
活動自立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験したことを言葉で表そうとしている。</li> </ul>		
【自立:6コミュニケーション(2)】			

【B児】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通機関を利用し、乗降時には様々な方法で料金を支払う体験をする。【1段階コ：社会の仕組みと公共施設】</li> <li>・消防署や警察署、バス停などがあることを知る。【1段階コ：社会の仕組みと公共施設】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動を通して見たこと、感じたことなどを振り返り新聞にし、みんなの前で発表する。【1段階コ：社会の仕組みと公共施設】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返り新聞を自分で読んで発表しようとしている。</li> <li>・予定表を見たり、指示を聞いて自分のすることがわかったり、したいことを伝えたりしようとしている。</li> </ul>
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせなどに親しみ、車について書かれたいろいろな絵本や図鑑があることを知り、読もうとしている。【3段階 イ(エ)】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験したことについて、振り返り新聞に簡単な語句や短い文を書こうとしている。</li> <li>【3段階 (B書くことウ)】</li> <li>・図鑑から読み取った車の仕事とつくりについて、図鑑に書こうとしている。</li> <li>【3段階 (B書くことア)】</li> <li>・教師と一緒に説明文「じどう車くらべ」を読み、内容の大体を読み取ろうとしている。【2段階 (C読むことイ)】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一番伝えたいことがらを振り返り新聞に書こうとしている。</li> <li>・図鑑から、車の仕事とつくりを読み取ろうとしている。</li> </ul>
活動自立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験したことを言葉で表そうとしている。</li> </ul>		
【自立：6コミュニケーション(2)】			

4. 単元の設定理由

(1) 児童について(略)

(2) 題材・教材について

『おはなしいすき』と題しての学習は2つある。1つは、物語文を音読劇で表す学習活動である。もう1つは、説明文を読み、内容を大まかに捉えたり、類似した説明文を書いたりする学習活動である。

この単元では、後者である説明文の学習をする。初めに「じどう車くらべ」(光村図書1年)の説明文を読み、発展として自動車ずかんを作る。説明文を読む学習は、1学期に「くちばし」(光村図書1年)の学習に取り組んだ。「くちばし」の説明文を読み、くちばしに関する絵本や動画を見て、「くちばしクイズ」を作った。できたクイズは3年生のお楽しみ会の中でみんなの前で出題し、答えてもらった。

今回の自動車ずかん作りでは、図鑑からの書きぬきについては、言葉の意味を理解することが難しいことも考え、書き抜く場所について支援員や図書館司書に印をつけてもらっておく。力を合わせ、お互いを尊重しながらあおぞら学級特製の自動車ずかんができるようにしたい。

(3) 授業づくりにあたって

① 自ら学習に向かえる工夫

自ら学習に向かうためには、学習活動を理解し、見通しをもつことが大切である。そこで、①体験する。②振り返って、ふりかえり新聞を書く。③車の絵とつくりを書く／車の仕事とつくりを図鑑や絵本から書き抜くという流れて図鑑を作っていく。毎時間ホワイトボードですることを提示し、流れを把握しやすいように視覚化しておく。

②一人一人が「できた」と感じる教材の工夫

本学級は3年生2名であるが、それぞれに実態が違うため、今回の学習ではA児とB児が分担して行う。A児は動作や様子を擬態語や擬音語で表すことができるため、車のつくりについて擬態語、擬音語で表せるようにする。B児は見本があればそれに沿って書けるため、見本を提示しながら自動車の仕事とつくりについて書けるようにする。A児が、B児がしていることに興味を持ち、やりたいと意思表示してきた場合には、同じように図鑑を見て書く活動も取り入れる。2人がそれぞれに「やりきったぞ」と達成感を持てるようにしたい。

③活動が広がり、深まるような「発表の場」の設定

今回作った「自動車ずかん」は、校内に掲示して全校児童に見てもらおう予定にしている。また、12月に行うフレンズの仲よし発表会でも発表する予定である。できたものを掲示することでたくさんの人に見てもらい、達成感や満足感を味わえるようにしたい。また、1年生も同じ学習をすることから、1年生との交流も図りたい。

5. 単元指導計画(全17時間 本時14/17時間)

次	時	主な学習内容
1	1	自動車クイズをする 自動車くらべを読む
	2	自動車くらべを読んで、仕事とつくりをワークシートに書き込む
	3	いろいろな絵本や図鑑を読む
2	4,5	バスに乗る体験をする
	6	体験したことをもとに、ふりかえり新聞を書く 絵本や図鑑をもとに、自動車ずかんを作る
3	7	郵便車に乗る体験をする
	8	体験したことをもとに、ふりかえり新聞を書く 絵本や図鑑をもとに、自動車ずかんを作る
4	9	パトカーに乗る体験をする
	10	体験したことをもとに、ふりかえり新聞を書く 絵本や図鑑をもとに、自動車ずかんを作る
5	11	工事車両に乗る体験をする
	12	体験したことをもとに、ふりかえり新聞を書く 絵本や図鑑をもとに、自動車ずかんを作る
6	13	救急車を見る・消防車に乗る体験をする
	14	体験したことをもとに、ふりかえり新聞を書く 絵本や図鑑をもとに、自動車ずかんを作る
7	15	ごみ収集車・給食車を見る
	16	体験したことをもとに、ふりかえり新聞を書く 絵本や図鑑をもとに、自動車ずかんを作る
8	17	ふりかえり
発展		なかよし発表会でのクイズ発表、1年生との交流

実践事例様式 (2)

6. 本時の学習

(1) 個別の目標

児童名	実態	目標
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表出言語は少ないが、楽しかったことや体験したことを動作や擬音語・擬態語で表そうとしている。</li> <li>・絵を描くことが得意で、見ながら描くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オノマトペを使って、体験したことを簡単な文や語句で書く。</li> <li>・写真を選び、絵カードを使いながら、ふりかえり新聞を書く。</li> <li>・選んだ車の絵を描こうとする。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手本があれば、書くことができる。</li> <li>・楽しいことや体験したことを、「だれが何をした。」で書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本や図鑑をヒントに車の仕事とつくりを書く。</li> <li>・写真を見ながら、体験したことを簡単な文や語句で書く。</li> </ul>

(2) 本時の展開

学習活動	教師の支援(※) 支援員の支援(○) 司書の支援(□)と評価(★)		準備物
	A	B	
1. あいさつ、今日の学習の予定を確認する。 ①「のりものに のろう」のふりかえりしんぶんをかく。 ②はっぴょうする。 ③パズルをしてから、しごととつくりをかく。 ④じどうしゃの絵をかく。 ⑥はっぴょうする。 ⑦おたのしみをする。	※今日の学習の予定を、ホワイトボードで文字と絵カードを使って示すことで、見通しを持って学習に取り組むことができるようにする。	○着席していなければ声をかける。 ※児童に今日の学習の予定を読むように促す。	予定ボード
2. ふりかえり新聞を書く。 発表する。	※毎回同じものを準備し、自発的に行えるようにする。 自分からできた時にはほめる。 ※児童が選べるように、絵カードを準備しておく。 ※□一緒に動作をしながら、言葉を引き出す。 ※難しい場合は、こちらから言葉を付け加える。	※毎回同じものを準備し、自発的に行えるようにする。自分からできた時にはほめる。 ○「何した?」「どうだった?」と言葉をかけながら、文章が書けるように支援する。 ○自分で文章を書いた時には、ほめる。	・絵カード ・写真、写真 ・IPAD ・ふりかえりカード

実践事例様式 (2)

	<p>★オノマトペを使って、体験したことを簡単な文や語句で書いている。【新聞】</p> <p>★写真を選び、絵カードを使いながら、ふりかえり新聞を書いている【行動観察・新聞】</p>	<p>★写真を見ながら、体験したことを簡単な文や語句で書いている。【新聞】</p>	
3. 自動車の絵本や図鑑を見たり、パズルをしたりする。	<p>□ページを開き、同じ自動車を見せる。</p> <p>※□一緒に動作をしたり、音を出したりする。</p>	<p>○一緒にパズルに取り組む。</p> <p>※いつも同じ流れにし、自発的に活動できた場合はほめる。</p>	<p>・絵本</p> <p>・図鑑</p>
4. 自動車ずかんを作る。	<p>※画材を準備し、A児が書けるようにする。自分で準備ができた時にはほめる。</p> <p>□絵本を提示し、描くものをいっしょに決める。</p> <p>※○集中して取り組んでいるときは見守る。</p>	<p>※B児が字を書きやすい、マス目の入ったワークシートを用意する。</p> <p>○仕事とつくりを指さして、声に出して一緒に確認する。</p> <p>□絵本を開き、しごととつくりが書いてあるところを見せる。</p>	<p>・ワークシート</p>
	<p>★選んだ車の絵を描こうとしている。</p> <p>【絵・行動観察】</p>	<p>★絵本や図鑑から車の仕事とつくりを書き抜いている。</p> <p>【ワークシート・行動観察】</p>	
5. できた新聞を発表する。	<p>※難しいところは指を指しながら、読めるようにする。</p>	<p>※○紙を見ながら発表するように伝え、どこを読むか困っている時には、声をかけてわかるようにする。</p>	
6. お楽しみ	<p>※好きな遊びを見守る。</p> <p>※タイマーで終わりの時間を知らせる。</p>	<p>※○「こちょこちょしたいよ。」「本を読むよ。」と、何らかの要求をしてきた時には、できる限り応える。</p>	<p>・タイマー</p>
7. あいさつ	<p>※あいさつカードを示し、日直が自分から挨拶できるようにする。</p>	<p>○着席していなければ声をかける。</p>	<p>・あいさつカード</p>

## 実践事例様式 (2)

### 7. 考察(成果と課題等)

本単元では、学校司書と連携して授業を行った。なかなか本に興味を持てなかったり、自分一人では本を読み切れなかったりする児童に寄り添ってもらった。その結果、授業時間中に興味を持って自動車の図鑑や絵本を読む姿が見られた。また、早い段階から学級に自動車の図鑑や絵本を置いてもらったことで、自動車に興味強い児童は休み時間やお楽しみの時間に手に取って眺めることができた。いつでも読める環境にあったことから、自動車図鑑を作る時には意欲的に向かうことができた。

今回は、体験したことを基にして、図鑑から仕事や作りを抜き出して自動車図鑑を作った。今後は、絵本や実際の図鑑から児童が興味関心を持った車について調べたり、図鑑から大事なことやびっくりしたこと、初めて知ったことなどを抜き出したりできるようにしたい。